

# 家事の手伝いの中で学ぶもの

社会教育指導員  
宇野 克 彰

数十年前までは、子どもの労働も重要な役割を果たしました。家計を助けるための家事労働に子どもの手をあてにしたものです。学校から子どもの帰るのを待って仕事をさせたものです。

現在は全く変わり、学校から帰れば勉強、勉強と強いられ、中には塾へ通わされている子どもも多くなりました。

家事も電化され合理化されましたので、子どもの労働力を必要としなくなり、子どもは勉強さえしてくればよいという家庭が多くなりました。この親の

気持ちを知っている子どもにも手伝いを頼んで「ちよっと手伝って」と言うと「今、勉強しているから」とか「宿題があるから」と言われると親は言葉をなくしてしまい、子どもの言いなりになってしまいます。

しかし、子どもがよりよき社会人となるためには、遊びと同様に手伝いも大切な子どもの仕事なのです。

社会の発達や生活構造の変化により家庭の中の仕事も変わってきました。その中で親子で話し合っただけで家事の分担をし責任

をもって何事も成し遂げることのできる人間性を育てなければなりません。

現代の親は子どもに働く機会を与えず、親がすべて引き受ける傾向にあります。これでは自分の身の回りのこともできず、他人に言われなければ何もできず、他人に指示されたこともできない子どもになります。

この結果、行動は無気力、無関心、無責任な子どもになり、勉強一本にっぽった生活も結局は成果が上がらず、かえって勉

強もせず、働くこともできず、勉強を口実にして前向きな生活から逃避する人間になってしまおうでしょう。

手伝いをさせることにより子どもにやる気を育て、その中で忍耐力、持続力を持つことができようになり、それに伴って手伝いをしながらそのやり方を考える中で思考力を高めることができます。

手伝いは、始めたら最後まで責任を持って片づけなければなりませんので、集中力や困難に耐え抜き、それを乗り越える力を養うことがで

きると同時に助け合うことを知りませう。

このように、手伝いを通して多くのことを学ぶことにより、子どもは自分に自信を持つことができ、自立心も高めます。遊びとともに、手伝いが子どもの成長にいかにか大切に具体的に述べさせていただきましたが、

大人はもう一度、子どものよりよき成長のために①遊び②手伝い③勉強とバランスのとれた子どもの生活構造を見直し、知、情、意のバランスのとれた人間らしい人間を育てましょう。



## 中西光夫さん 優勝に輝く

### 第35回横芝町囲碁大会

2月6日に中央公民館主催の囲碁大会が文化会館で行われました。

当日は、初級者から上級者までそれぞれのレベルにあわせた対局となり、楽しみながらも緊張した様子を感じられました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 中西 光夫 (鳥喰下)
- 準優勝 村岡 忠夫 (八日市場市)
- 第3位 椎名 肇 (光町)
- 第4位 中川 敏雄 (東町)
- 第5位 市原 敏雄 (鳥喰下)



次の手はどこに……

## 身近な問題でお困りの方へ

### 法律相談を開催

土地や建物の売買・貸借、相続、金銭問題など、身近な問題で困っている方に、専門の弁護士が相談に応じます。

★申し込み 3月8日から19日までに、町文化会館(☎013-51)へ申し込んでください。先着12名です。

相談は無料で、秘密も守られますので、安心して申し込めます。★期日 3月19日(土) 午後1時から ★場所 町文化会館

